



CAMPFIREでクラウドファンディング挑戦中

八戸学院光星高校硬式野球部は 甲子園に出場するのに必要な寄付金を募っています。

この度、八戸学院光星高等学校硬式野球部は春の選抜大会出場に必要な寄付金を募集するべく、クラウドファンディングに挑戦することにいたしました。

このクラウドファンディングでは、誰でも、どこからでも、簡単に八戸学院光星野球部への寄付ができる仕組みとなっております。また、寄付のリターンとして、選手からのお礼のメッセージやサイン入りのお写真などをお届けするプランをご用意しております。また、今回のプロジェクトでの寄付は税制上の優遇措置を受けることも可能となっております。

プロジェクトページに詳細を記載しておりますが、本州最北端の青森県から甲子園に出場するには、1試合あたり約2,000万円の経費が発生しております。決勝までいくと、およそ1億円まで経費が膨らみますが、これら全てを学校関係者だけで負担するには限界があります。それでも、応援生徒は2泊3日の車中泊をしながらバスで甲子園に向かうなど、限界まで経費削減をしている状態です。

球児たちに全国制覇に向かって挑戦してもらえるよう、支援体制を整えたいと思っております。誠に恐縮ではございますが、何卒お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



QRコード、またはネット検索から
プロジェクトページをご確認ください！

4月7日（日）

まで支援受付中！

八戸学院光星高等学校は、青森県八戸市にある私立高校です。硬式野球部は、春10回夏12回計22回の甲子園出場経験を誇ります。高校野球春の東北大会では、決勝で2022年夏の甲子園優勝校、宮城・仙台育英を破り、見事優勝を達成しました。春の選抜大会優勝に向けて100名を超える部員が切磋琢磨しています。

CAMPFIRE 八戸学院光星

検索



いつか野球で、 この場所に恩返しがしたい。

「甲子園に行くと、1試合あたり2,000万円かかるらしい。」

最初は耳を疑った。

今でもまだ、あまりに手触り感のないその金額を想像できていない気もする。

「感謝の気持ちを忘れるな」

と誰かが言う。

本当にその通りだと思う。

どんなに野球が上手くても、
誰かに支えてもらえなければ、
夢の舞台でプレーすることは出来ないからだ。

高校野球の価値ってなんだろう。
人から応援されるってどういうことなんだろう。
これだけお金がかかる舞台なのに、
厳しい練習に耐えないといけない舞台なのに、
それでも甲子園に行きたいと願うのはなぜだろう。

いろんなことを考えた。

正解は今も分からない。

ただ、確かなことは、
いつか野球でこの場所に恩返しがしたいということ。

未熟な自分を育ててくれたこの場所に、
大好きな野球で恩返しができるその日まで
どんな試練も困難も、
正面から受け止めたいと思う。

マウンドに立つ時、もう僕は1人じゃない。

これからは、支えてくれた人とのために戦い続けると、この地に約束する。

八戸学院光星硬式野球部は甲子園に出場するのに必要な寄付金を募っております。1試合2,000万円という莫大な費用がかかる甲子園の舞台で、球児たちには野球に全力で打ち込める環境を作ってあげたいと考えております。それらの費用全てを学校関係者だけで補うには限界があるため、裏面記載のクラウドファンディングより温かいご支援をいただけますと幸いです。何卒よろしくお願いいたします。